

「笑顔あふれるまち 飯南町」

いーなん



いーなんよう
飯南町広報 平成31年2月20日 No.170

地域の医療を守る

まち医者

ヒトカラ~hitocolor~イイナン

2019
2
月号
iinan public
relations magazine

先日、読売新聞社が主催する「第47回医療功労者賞」を受賞された、赤名にある和田医院の院長、和田勝祥さん。和田さんは、40年以上にわたって、地域の医療を支えてきました。
今月は、和田さんにスポットをあてて、お話を聞きました。

父親の志を継いで

和田さんは昭和17年、神戸市生まれ。昭和20年に、祖父母が住む大田市に移り住み、(同20年3月、神戸市は空襲に遭います。)その後、小中学校時代は赤名地区で過ごします。

大学は鳥取大学医学部へ進学し、医師を志します。「父親が医師ということもあって、自然と医師を志した」と。

昭和45年に医学部を卒業し医師になると、大学病院の医師などとして経験を積みます。しかし、医師としての道を順調に歩んでいた昭和50年、飯南町で開業し、医院を営んでいた父親が亡くなります。翌年の4月、

自ら足を運んで

医院を継いだ当時、多いときには約20軒の往診先があったといひます。来院することが困難な高齢者の自宅へ、夜間や休日、雪が降り積もる日も、電話があれば自ら車を運転して患者の自宅に向かい、まち医者ならではのフットワークの軽さで、柔軟に対応しました。

「昔は、一刻を争うときは酸素ボンベを持っていくこともあった。そう思えば、今は救急車も

地域の医療を守る

まち医者



大学医学部時代の写真を懐かしく

あるし交通の便も比較的好いので、少しは楽になったかもしれない。書類物は増えたけども。現在は6〜7軒の往診先がある。医院は、月・水・金の週3日、主に午前中が医院での診療で、午後は月曜と金曜が往診。水曜日の午後は事務的なことをしている。グループホームへの往診もしている」

また、昭和51年から平成29年までの間、40年以上にわたって、地元の小中学校の学校医も務めました。児童・生徒、教員の健康管理と保健衛生指導にあたり、平成29年には、学校保健文部科学大臣表彰を受賞。「子どもたちの成長とともに、子どもたちの健康管理に携われたことは、私の大きな財産だね」

まち医者の役割

和田医院は、一次医療機関という位置づけになります。最初

に診て、一刻を争うことや高度な治療が必要であれば、高次の医療機関へ繋ぐ役割を担います。「加えて」と和田さん。「地域密着の医者としての役割が大きい」と思っている。昔から付き合いのある人は特に、最初に電話をかけてくるのは私のところだったりする。地元ではあるし、赤名地区はほとんど顔が分かる。気軽に診てもらえると思っていただけではないかと思う。健康診断後の相談に来られる人もいる。そこに住んでいるからこそ、コミュニケーションがとりやすい。田舎の病院の良いところだと思う」

まちの医療を最前線で守る

どこに住んでも適切な医療を受けられることは、生涯にわたって安心して暮らせる地域社会を実現するために必要不可欠な条件です。ですが、本町をはじめ、中山間地域の医療従事者の確保は厳しい状況が続いています。

町では、独自の助成制度を設け、医師、看護師等の医療従事者の育成等に取り組んでいます。また、島根県や他の医療機関の協力を得ながら、医療体制を整えています。しかし、根本的

な医療従事者不足の解消には至っていない状況です。「ここで働き始めた頃は、この辺りにも5つの民間病院があったが、今は私だけになってしまった。1月に77歳になったが、昭和51年に和田医院の院長になり、もうすぐ満43年が経つ。私もまだまだ頑張りたいとは思っているが、いずれは後のことも考えないといけない。この場所ということは難しいかもしれないが、例えば、志々や谷のように出張診療所のような形で、飯南病院と連携して続けていくことが必要だと思っている」

和田さんは、毎年8月に開催されている、町の医療従事者育成助成制度を活用している学生との交流会「メディカフェ」に参加しています。「医療従事者を目指す若者たちには、ぜひ、しっかりと経験を積んでもらって、将来、まちのために頑張ってもらいたい。私も、それまで町の人の健康と笑顔のために、微力ながら尽力していきたい」

まちの医療を最も住民に近い場所を守る「まち医者」。その想いを、若者たちに受け継いでいくという使命を、和田さんは先頭に立って引っ張っています。

検査結果をチェックする和田院長



和田院長と看護師の渡邊光子さん。渡邊さんも昭和53年からこの場所で働いている

左端が医学部時代の和田院長



みんなで子馬を作りました

後ろ足の部分を作っているところ



**福を届ける伝統行事
とろへい**

小正月の頃に飯南町で古くから行われている、子どもたちが「福」を運ぶ民俗行事「とろへい」が、頼原張戸地区で行われました。

行事には、頼原小・中学校や帰省中の子どもたち19人が参加。3組に分かれ、「とろへい」と唱えながら、地域の家々10戸を訪問しました。馬が届けられた家の人が、福を運ぶ使者の来訪を祝って勢いよく水を浴びせると、子どもたちは楽しそうに歓声を上げながら逃げ回っていました。

1/12
土



清めの水にぬれた子は、1年間の無病息災が約束されるといわれます



加田の湯の明かりが、スノーキャンドルの雰囲気にとろへい

**人の縁とろうそくの
明かりであつたかく
スノーキャンドル**

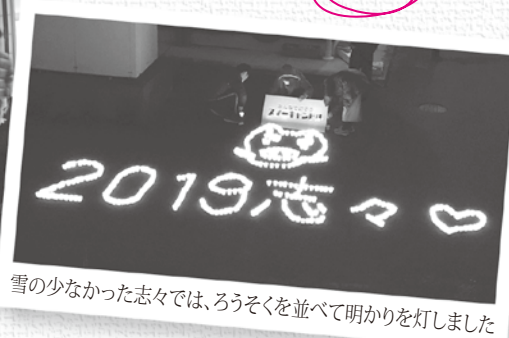
「みんなで灯そう スノーキャンドル」が開催され、1月26日には道の駅頼原で、2月2日には加田の湯とさつき会館で、温かなろうそくの明かりが灯りました。

「寒い時期だからこそ、人と人の繋がりを大切に感じて、あつたかくなる機会をつくりたい。そんな想いから企画されているこのイベント。雪不足に悩まされましたが、いずれの会場も、創意工夫を凝らした企画が行われ、温かな人の輪ができていました。

1/26
土

2/2
土

地域の人でにぎわう加田の湯



雪の少なかった志々では、ろうそくを並べて明かりを灯しました



道の駅頼原では、当日朝に降り積もった雪で200個の明かりが灯りました

**第14回雲南市剣道大会
琴引剣道少年団が
団体、個人で優勝**

1/27
日

三刀屋中学校体育館で開催された雲南市剣道大会で、琴引剣道少年団が団体戦、個人戦で優勝するなど活躍しました。



練習のない日は、自宅で素振りをしたり、走ったり、体幹トレーニングをしたり。結果は努力の賜物

昨年は雲南市のチームに敗れ優勝を逃しましたが、「今年こそは」と一丸となって大会に臨み、見事優勝を勝ち取りました。

3月には、全国から出場者が集まる大会があり、その試合でも良い結果が残せるように、まだまだ稽古の日々が続くとのことです。

団体戦

優勝 灘尾 拓馬さん 高橋 遥希さん
高尾 斗梧さん 日野 七美さん
森山 敬翔さん

個人戦

● 高学年男子の部
優勝 高尾 斗梧さん
2位 高橋 遥希さん
3位 灘尾 拓馬さん

● 高学年女子の部
優勝 日野 七美さん
3位 三原 花凛さん

● 低学年男子の部
3位 石川 玲夢さん

● 低学年女子の部
2位 宮本 綾音さん

AR
動画



みんな本気で楽しみました



優勝は玉数制限をものともなかった高校野球部チーム

**若者達の運動の祭典
とんぼ探検隊冬季フェフ**

頼原中学校体育館を会場に、町内の会社員や学生などで構成される実行委員会が企画した「とんぼ探検隊冬季フェフ」が開催されました。

1/26
土

当初は、雪合戦や雪像づくりなどを計画していましたが、雪が少なくやむなく内容を変更。室内でもできる雪合戦ということで「いたつボール」を行いました。



防御用の壁の場所はチームで話し合って決めます

この競技は、雪のない地域でも雪合戦をと、姉妹都市である伊丹市で考案されたスポーツ。雪玉のかわりにスポンジボールをぶつけながら、相手の陣地に攻め入り、旗を取った方が勝ちとなる簡単なルールです。

地域の若者の地域づくりへの参画や交流を目的に開催されたこの企画。当日は、高校生や大学生、会社員など約30人が集まり、体育館を縦横無尽に走り回りながら一緒に楽しんでいました。

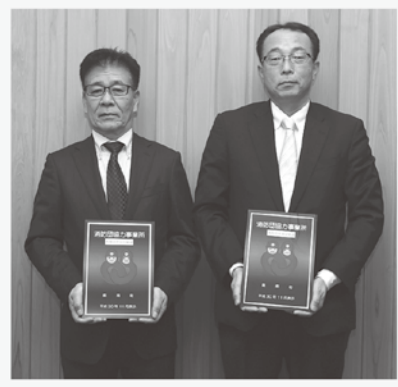
消防団協力事業所 表示証を交付

1/29
火

飯南町消防団に積極的に協力している事業所や団体に対して交付している「消防団協力事業所表示証」を、有限会社渡辺建設、有限会社景山建設に交付しました。

この表示証は、従業員が行う消防活動への配慮や、災害時に事業所の資機材等を消防に提供するなど、消防団活動に積極的に協力している事業所に町が交付しています。

地域の安心・安全に欠かせない消防団の活動には、地域や企業、家庭など、各方面の協力が不可欠です。



(有)渡辺建設 代表取締役の岩本弘一さん(右)と、
(有)景山建設 代表取締役の景山幹雄さん

引き続き消防団の活動にご理解、ご協力をお願いします。

教育委員会委員を任命

教育委員会委員に、熊谷高暢さん(頓愿を再任しました。任期は、平成31年2月11日から4年間です。教育委員の構成は次のとおりです。

- 氏 名 任期満了年月日
- 熊谷 高暢さん(平成35年2月10日)
- 烏田 勝信さん(平成32年2月10日)
- 高田 紀子さん(平成33年2月10日)
- 小野田 知子さん(平成34年2月10日)



熊谷高暢さん

第4回ヒトカラhitocolor イナン

1/20
日

あなたも発明家に



各グループごとにアイデアを発表

今回は、「地域づくりアイデアづくり」をテーマに、参加者それぞれが飯南町で実現してみたいことを話し合いました。



回を重ねるごとに、傾聴を踏まえた対話が自然と実践できるように

地域活性化センターの小嶋敦夫さんは、「やりたいこと、できること、求められていることが重なる取り組みが地域づくりに繋がっていく」と話し、塾生は熱心に耳を傾けていました。

今回のテーマは「アイデアづくり3回転3回ひねり」。今回生まれたアイデアがどのように磨かれていくのでしょうか。

※転地療法：仕事や家庭などの日常生活を少しだけ離れることで、自分だけの時間に入り、疲れを癒すこと(森林セラピーや温泉など)

消防出初式

1/13
日

気持ち新たに 地域の安全・安心を守る

平成31年消防出初式を、赤名地区で開催し、196人の消防団員が出動しました。

初めに、町長に出動人員を報告し、昇格者・任命者に辞令を交付。その後、沿道の皆さんの声援を受けながら、分団ごとに隊列を組み、赤名連担地を力強く行進しました。赤名農村環境改善センターで行われた式典では、各種表彰などを行いました。



訓辞を行う澤田団長

澤田秀樹団長は、「昨年は、4月の島根県西部地震や7月に発生した西日本を中心とした豪雨災害など、全国各地で災害が発生した。災害の恐ろしさを思い知らされるとも



士気高く集まった消防団員



赤名の街中を力強く行進

に、いつ、どこで起こっても不思議ではないということを改めて痛感した。団員が協力して、町民の皆さんの安全・安心を確保できるよう、団員諸君の協力をお願いしたい」と訓辞を述べました。

二十歳の君に

2/12
火

10年後の私へ

10歳になる小学4年生に、将来の夢を語ることを通して、ふるさとへの愛着を育んでもらおうと、「二十歳の君に」と題した、2分の1成人式を開催しました。

出席した42人の子どもたちは、将来の夢や夢の実現に向けて頑張っていることなどを書いた、10年後の自分自身に宛てた手紙を発表。それを聞いた子どもたちは、「失敗してもあきらめずに頑張ってほしい」「私も夢に向かって努力したい」などと感想を話していました。



一人一人が20歳の自分自身に、頑張ることを誓いました

和田勝祥さん医療功労賞を受賞

さんの健康と笑顔のため、これからも頑張りたい」と話しました。

長年にわたり、地域に密着して医療・福祉の向上に貢献した医療従事者を表彰する「第47回医療功労賞」を、和田医院院長の和田勝祥さん(赤名)が受賞しました。(読売新聞社主催)

和田さんは、「最も住民に近い距離感で、夜間の急診や訪問診療など、柔軟に医療を提供できたことは『まち医者』の本懐。地域に暮らす皆



和田勝祥さん

まちを元気に！ 地域おこし協力隊

町内でさまざまな地域課題に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、谷地区で活動する三宅修平隊員の活動報告です。



私も神楽を舞っています

とで、飯南町を訪れるきっかけとなることを期待しています。公演予定や団員の紹介など、見どころ満載のサイトができあがりしました。ぜひチェックしてみてください。

さらに、飯南神楽団のLINEスタンプの制作にも取り組みました。谷地区が舞台の創作神楽の演目「程原入道」を題材に、日常会話でも使えるかわいいスタンプになっています。すでに1月末からアプリ内で販売を始めています。ぜひご利用ください。



創作神楽「程原入道」

集 落実態調査成果報告会

平成30年度に、学生納付特例制度により保険料納付を猶予されていた、平成31年度も引き続き在学予定の人に、基礎年金番号等が印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書を、3月末に送付します。

同一の学校に在学している人は、ハガキに必要事項を記入して返送することで、平成31年度の申請ができます。(在学証明書、学生証の写しは不要)

「小さな拠点づくり」を進めることを目的に、今年度から始まった集落実態調査の成果報告会を開催します。次年度も引き続き集落実態調査を自治体単位で実施する予定です。

既に取り組みが終わった地区も、これから取り組む地区も、今後の地域づくりを考えていくためにぜひご参加ください。

日時 3月15日(金)19時～
会場 赤名農村環境改善センター

平成31年度一般会計

当初予算要求状況

本町では、10年後のまちの将来像「笑顔あふれるまち」の実現を目指して、各施策を進めています。一方、地方交付税の減少や公共施設の維持管理費、インフラ整備などの支出の増加により、財政状況は厳しくなっています。より一層の健全な行財政運営が求められています。

平成31年度当初予算要求総額は「92億2,507万円」となり、30年度当初予算79億5,448万円から大きく増加しています。今後、内容を精査し、予算案を3月定例議会へ提出します。予算の要求状況は次のとおりです。

※記載内容は予算要求段階のもので、内容や金額は変更になる場合があります。記載した内容は要求の一部です。

平成31年度 当初予算要求総額(一般会計) 92億2,507万円

総務費 H31当初要求**29億6,510万円** 全体に占める割合**32.2%**

- 情報通信基盤整備・・・頓原地域の光ケーブル整備
- 長期計画策定・・・総合振興計画・総合戦略策定、観光交流施設の方向性検討
- 森林活用地方創生推進・・・地域商社立ち上げ検討、木材販路開拓・商品開発・人材育成の仕組みづくり
- 定住促進対策・・・定住相談、定住促進賃貸住宅建設(2棟)
- 飯南高校教育支援・・・教育活動後援会補助金、生命地域ラボなど地域交流活動
- 小さな拠点づくり推進・・・集落実態調査(7地区)、地域づくり活動支援助成金
- 来島拠点複合施設整備・・・来島拠点複合施設建設
- 公共交通運行・・・町営バス・デマンドバス運行管理、町営バス更新(1台)

民生費 H31当初要求**12億6,653万円** 全体に占める割合**13.7%**

- 福祉施設運営・・・社会福祉協議会運営補助、福祉施設運営委託
- 健康づくりと介護予防ができる地域づくり・・・介護予防と健康づくりの一体化、小さな拠点づくり(集落実態調査)との連携
- 地域包括ケアの推進・・・相談支援体制の整備、高齢者福祉・障がい者福祉施設のあり方検討、病院・町内福祉施設の医療介護連携
- 子ども子育て支援・・・子ども等医療費助成、結婚・出産祝い金、第3子以降子育て支援
- 保育士確保対策・・・保育士確保のための学生支援・就業支援

土木費 H31当初要求**9億4,471万円** 全体に占める割合**10.2%**

- 道路整備・・・8路線、法面災害防除、橋梁長寿化
- 住宅整備・・・新衣掛団地3号棟造成工事、住宅リフォーム助成

消防費 H31当初要求**2億7,616万円** 全体に占める割合**3.0%**

- 非常備消防・・・消防団活動、防火水槽整備(1基)、消防車両更新(2台)
- 災害対策・・・防災訓練、防災士養成、自主防災体制強化、特定空き家等解体助成

教育費 H31当初要求**6億4,347万円** 全体に占める割合**7.0%**

- 学習支援館運営・・・学習塾運営、備品整備(来島拠点複合施設)
- 教育魅力化推進・・・保小中高一貫教育の推進、キャリア教育・教育移住の推進
- 社会教育の推進・・・公民館運営補助、図書購入(来島拠点複合施設)、放課後子ども教室、長期休業期間児童クラブ
- 体育施設・・・頓原球場照明塔更新

その他 H31当初要求**12億2,938万円** 全体に占める割合**13.3%**

- 議会費、公債費(借金の返済)、予備費

図2. 実質公債費比率の推移

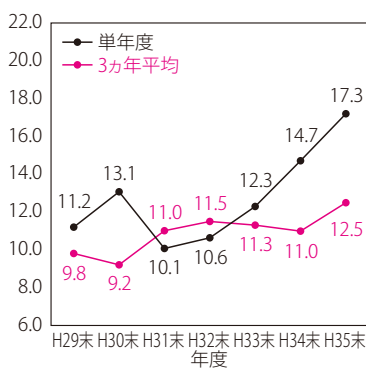
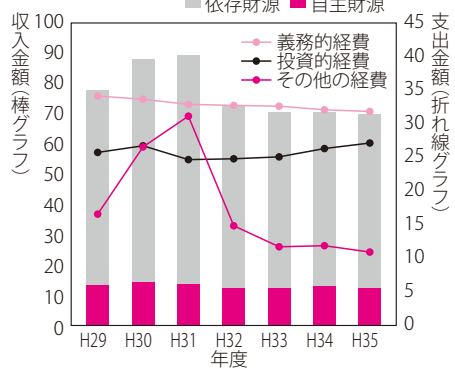


図1. 歳入歳出の推移(単位:億円)



● 将来の財政運営(H29～H35の7年間について)

平成35年度までの歳入歳出の推移【図1】と、実質公債費比率の推移【図2】は次のとおりです。

平成30年度から平成31年度にかけては、ケーブルや来島拠点複合施設などの大規模事業実施の影響で投資的経費が大きく増えています。依存財源では、町合併による普通交付税の加算が平成31年度で終了します。

これまでの繰上償還の効果で、公債費(借金の返済額)が減少したことにより、現在は3カ年平均でも10%を切る値となっています。平成32年度以降は、大規模事業を実施した影響で単年度の比率が上昇するため、注視が必要です。

平成31年度は学生納付特例制度を利用せず、保険料納付を希望される場合は、納付書を作成して送付します。お近くの年金事務所等へお問い合わせください。

問合せ
出雲年金事務所
電話0853・24・0045
住民課
電話76・2213

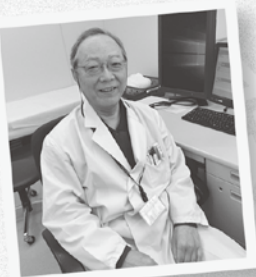
健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 電話72・0221 ●来島診療所 電話76・2309 ●保健福祉センター 電話72・1770

飯南病院 便り

運動療法の勧め



飯南病院内科医師の安田勲です

飯南病院内科医師の安田勲です。今月は、運動についてお話ししたいと思います。

私は定年退職後、嘱託医として、飯南病院で健診・人間ドック・予防接種等の保健事業を主に担当しています。健診受診者（健診なので比較的若い人が多い）に、「定期的に運動をしていますか？」と聞くと、その割合は意外と少なく15〜20％程度です。一般に、運動を始めるキッカケとしては次のようなことが挙げられます。

●健康に対する意識、何らかの運動を取り入れて続けようという気持ち
●趣味を生かして運動を継続する

●健診・人間ドックの結果（肥満やメタボの指摘）で運動を始める
私が運動を始めるキッカケとなったのは、53歳で初めて人間ドックを受診し、肥満傾向と糖尿病の可能性を指摘されたことでした。その後、エア縄跳び等の運動を始め、現在も続け

ています。

近年は趣味のひとつとして、風景写真を撮るためにあちこちへ出かけるようになり、山に登って写真を撮ったりします。昨年は8回、昨年は9回近隣の山に登りました。そのためには、日頃から足を鍛えておく必要があり、それが運動継続のモチベーションになっています。私の運動のメニューは、エア縄跳び、もも上げ、逆立ち、腹筋、腕立て伏せ、スキップ、長生き体操等です。

運動は時間をとられるというマイナス面もありますが、ストレス解消や生活にメリハリができて頭もすっきりし、仕事もはかどる等の良い面がたくさんあります。超多忙なノーベル賞授賞者や元宮崎県知事さんもほぼ毎日約10kmのジョギングをされています。皆さんも自分で継続できる運動を見つけて挑戦してみてください。

保健福祉センター 便り

「自分が」「周りの人が」心のSOSに気づく 一人で抱え込まずに相談を

3月は生活環境が大きく変わり、ストレスや不安を抱えやすい時期です。あなた自身やご家族に、右記の項目の中で、当てはまるものがいくつありますか？当てはまる項目をチェックして、あなたのストレスの度合いを調べてみましょう。

当てはまる項目が多い人ほど、たくさんのストレスを抱えている可能性があります。気分が落ち込んだり、体調がすぐれないが続いたりする場合は、早めに心療内科等の医療機関を受診してください。また、雲南保健所（0854・42・9642）や役場保健福祉課（72・1770）でも、本人や家族の「心の悩み」などの相談に応じます。

- ☐ 一度の失敗や、よくない出来事にとらわれやすい
- ☐ 仕事や家事が手につかなくなった
- ☐ 目がしょぼしょぼする、または疲れやすい
- ☐ 手のひらや首筋に汗をよくかくようになった
- ☐ 心配事が頭から離れない
- ☐ 物事をつい深読みしすぎてしまう
- ☐ ケアレスミス（不注意による誤り）が増えた
- ☐ 常にイライラしていて落ち着きがなくなった
- ☐ 朝、目覚めると気分が悪くなる
- ☐ 時間に追われる日々を送っている

ストレス解消には「笑い」がいちばん

人は笑うと、イライラやむかつきなどマイナスの感情が薄らぎます。笑いには、自律神経のバランスを良くし、心の緊張をほぐす働きがあるからです。家族みんなでおしゃべりをしたり、テレビを見たりして、生活に笑いの効果を取り入れてみましょう。



こんにちは
中山間地域研究
センターです。

「人口推計」をご存じですか？

●中山間地域研究センター
電話 0854・76・2025
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



集落実態調査の話し合いを形に

昨年8月から3回にわたって、赤名自治区（赤名自治振興協議会）で「集落実態調査」を行いました。「10年後、こんな地域になっていたらいいな」というテーマで意見交換し、「地域の『絆づくり』が大切」との意見が多く寄せられました。



カレンダーづくり

この想いを基に、1月22日には、中市サロンで「カレンダーづくり」が開催されました。2月には上市、下市の両サロンで料理教室が開催される予定で、地域の皆さんの手で、地域の絆づくりが進められています。

赤名地区集落支援員の金藤正道です。

今後も、「集落実態調査」で見えてきた課題を地域の皆さんと検証し、「住みよい地域づくり」のお手伝いをさせていただきたいと思います。

赤名連坦地「スノーヘルパー」発進

1月27日、真新しいブルーのユニフォームに身を包み、赤名自治振興協議会ボランティア「スノーヘルパー」の出発式が行われました。

出発式の終了後、高齢者宅を中心に、地域住民が利用する集会所なども除雪。



集会所周辺を除雪



を活用した、県内の公民館エリア別の人口推計を見ることができます。移住定住が進んだ場合のシミュレーションもできます。ぜひ一度ご覧ください。

「しまねの郷づくり応援サイト」URL
<https://satodukuri.pref.shimane.lg.jp>

■問合せ
中山間地域研究センター
(地域研究スタッフ、中山間地域支援スタッフ)
電話76・3830

住みよいまちへ 集落支援員

町内5地区で活動する、地域とともに歩む「集落支援員」の活動を紹介します。



真新しいユニフォームで出発式

約20名のボランティアが参加され、地域のお助けマンとして活動されました。今後も、地域の担い手「スノーヘルパー」としての活躍が期待されます。集落支援員として支援していきたいと思います。

求人情報

Uターン希望者・求職者・事業者のみならずへ
直近1カ月に登録された求人を紹介し
ます。詳しい内容を知りたい方は、このほかの
求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせ
ください。求人情報の閲覧のみも可能
です。
※表示のない市外局番は「0854」です。

エムズ環境 72・1212	
管工事、住宅設備工事、スプリンクラー工事	フル 若干名
(株)カワヨコーポレーションいいなん牧場 0795・42・4333	
乳牛の飼養	フル 1人
島根県教育庁学校企画課 0852・22・5422	
出雲教育事務所管内公立小学校常勤講師	フル 10人
(株)いいなんトータルサポート 76・9070	
琴引ビレッジレストランの調理	フル 1人
(株)ニチフレ島根 73・0131	
製造工	フル 2人
田村工業(有) 76・3511	
土木作業員及び重機オペレーター	フル 2人
ふくま歯科医院 72・1500	
歯科衛生士	フル 1人
(株)後藤建設 72・0103	
重機オペレーター	フル 1人
土木施工管理技術者	フル 1人
建築施工管理技術者	フル 1人



松田建設(株) 76・2361	
土木技術職員	フル 1人
(有)一福 72・0006	
出雲そば・加工食品等の営業	フル 1人
飯南町立飯南病院 72・1221	
看護師	フル 2人
(株)藤原建設 72・0154	
土木施工管理者	フル 1人
飯石森林組合 62・1520	
営業・管理・事務職員	フル 1人
企業警備保障(株) 出雲支社 0853・28・1533	
イベント及び駐車場警備員	パート 5人
(株)コンビニエンス飯南 76・9290	
朝勤 7:00~13:00	パート 1人
昼勤 13:00~19:00	パート 1人
夕勤 19:00~ 0:00	パート 1人
夜勤 0:00~ 8:00	パート 1人
ローソン・ポプラ 飯南赤名店の店員	

自衛官募集
自衛官候補生(陸上・海上・航空)
応募資格
採用予定月の1日現在、18歳
以上33歳未満の人
受付期間
2月25日(月)~3月8日(金)
試験日
3月9日(土)
一般幹部候補生(一般・医科・薬剤科)
応募資格
平成32年4月1日現在、20歳
以上26歳未満の人(22歳未満の人は
大卒(見込)色、修士課程修了者等(見込
含)は28歳未満(日本国籍)
受付期間
3月1日(金)~5月1日
(水)締切日必着
1次試験
5月11日(土)・12日(日)
一般曹候補生
応募資格
平成32年4月1日現在、18歳
以上33歳未満の人(日本国籍)
受付期間
3月1日(金)~5月15日
(水)締切日必着
1次試験
5月25日(土)

<http://www.mod.go.jp/pco/shimane>

AR動画の視聴方法

ARマーク



飯南町HP
QRコード

広報いーなんでは、AR(拡張現実)動画を導入
しています。詳しい視聴方法は、飯南町ホーム
ページでご紹介しています。(今月号は4ページ
に対応写真があります)

労働相談会
対象 労働者または事業主
日時 3月3日(日)9時~13時
会場 斐川文化会館
(出雲市斐川町庄原21661)
料金等 無料
※事前予約者優先(当日会場での受付
も可)。秘密は厳守します。
島根県労働委員会事務局
電話0852・22・5450

下水道の使用人数を確認してください

下水道使用料は、基本料金とご
家庭で生活されている人の人数で算
定しています。
新年度を迎え、引越など人数
の変更がある場合は、お近くの役場
窓口で変更の手続きをお願いします。

※下水道：公共下水道、合併浄化
槽、農業集落排水
■問合せ
建設課
電話76・3942

司法書士無料法律相談

相談内容 遺産相続、遺言、不動産
の売買、名義変更登記、お金の貸し
借り、借金・ローン、悪質商法、会社
の登記、裁判、調停、成年後見等高
齢者の財産管理など

日時 3月16日(土)13時~17時

会場

●松江会場

朝日公民館(松江市東朝日町49)

●出雲会場

ラピタ本店1F相談ブース
(出雲市今市町87)

注意 要予約、無料、秘密厳守

■問合せ

司法書士総合相談センター

電話0852・60・9211

(受付時間は毎週月・火・木曜日の12時~
15時)

「農業者年金」
加入者募集

農業者年金は、農業者の老後の生
活の安定などを目的とした、農業者
だけが加入できる、積立方式の「農
業者のための年金」です。

加入要件

・年間60日以上農業に従事
・国民年金の第1号被保険者
・60歳未満の人

農業経営者をはじめ、自分名義の
農地を所有していない農業者や、配
偶者、後継者など家族農業従事者
も加入できます。

■問合せ

農業委員会事務局

電話76・2214

スポーツ安全保険

対象

スポーツ活動・文化活動・ボラン
ティア活動・地域活動などを行う4
名以上の団体・グループ

保障内容

傷害・賠償責任・突然死葬祭費用
(保障内容は、加入区分で異なります。詳細は
ホームページ等で確認してください)

保険期間

平成31年4月1日午前0時~平
成32年3月31日午後12時(年度中途に
加入した場合は、加入手続日翌日の午前0
時から)

■問合せ

スポーツ安全協会島根県支部

電話0852・21・5388

民間企業と協働で「暮らしの便利帳」を発行します

より便利で快適な生活を送って
いただくため、役場の各種手続きや制
度、防災情報などを二冊にまとめた
「飯南町暮らしの便利帳」を発行し
ます。

便利帳は本年8月に、(株)サイネッ
クスとの官民協働事業で発行し、町
内各世帯への配布を予定しています。
※編集・印刷などに必要な経費は、

(株)サイネックスが募集する町内外の
事業所や団体からの広告掲載料が
充てられます。広告は名刺サイズ程
度の大きさから掲載できます。広告
の掲載にご協力をお願いします。

■問合せ

(株)サイネックス山陰支店

電話0852・25・1366

加入対象者	補償対象となる活動(加入区分)	年間掛金 (1人当たり)
子ども (中学生以下)	スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動	800円
	上記団体活動と個人活動	1,450円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動、スポーツ活動の指導・審判	(64歳以下) 1,850円
		(65歳以上) 1,200円
	文化活動、ボランティア活動、地域活動、準備片付け・応援・団体の送迎	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	11,000円

春待つふるさとの森

今年は暖冬の影響で、例年にないほど雪の少ないふるさとの森。そんな中でも、じつと春の訪れを待つ花があります。それが、高級和紙の原料にもなる「ミツマタ」です。

読んで字のごとく、枝が「三つ又」に分



蜂の巣のような姿が可愛いミツマタの蕾

かれているのが特徴で、花の少ない時期に森の中に黄色く鈴なりに咲く様は、ぼんぼりが灯ったように美しいです。



平成31年1月18日付け 山陰中央新報

インフルエンザ予防に!?
クロモジに脚光

飯南町でもおなじみの「クロモジ」に、インフルエンザの抗ウイルス作用があることが分かりました。クロモジの成分は、薬用養命酒の生薬にもなっていて、同製品を製造・販売する養命酒製造株式会社と愛媛大学の共同研究で実証されました。

飯南町の森林セラピーでは、お客さまへ「クロモジ茶」を提供して、おもてなしをするガイドも多くいます。インフルエンザが流行していますが、飯南町にも多く自生しているクロモジを、日頃の体調管理に生かしてみたいかがでしょうか？

飯南町国道54号活性化
アクションプラン推進協議会



神話の山「琴引山」

設立から10年を迎えた、国道54号活性化アクションプラン推進協議会。しかし、どんな目的で、どんな活動をしているのか知らない人も多いのでは？本協議会の取り組みを連載で紹介しします。

■問合せ
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
(い〜にゃん人つなぎ協議会)
電話76・2864(地域振興課)

飯南町の「自然」の魅力を高める活動

自然部会では、主に飯南町の「山」に関わる活動をしています。

飯南町の山々は標高1000m前後のため、初心者でも比較的簡単に登れます。また四季折々の彩りや、その時期にしか見られない植物もあり、年間を通じて多くの登山者が訪れています。この魅力をさらに磨き上げ、「町内外の人にもっと飯南町の山を楽しんでほしい」という思いから活動しています。

登山道に関わる提案書を提出

飯南町の山を訪れた人が楽しく安全に登れるように、琴引山と大万木山の登山道の現状を把握する調査を実施し、案内看板の設置場所などをまとめた提案書を町へ提出しました。

町と連携しながら、登山者が楽しく安全に、そして何度でも訪れてもらえるような登山道にしていきたいと考えています。

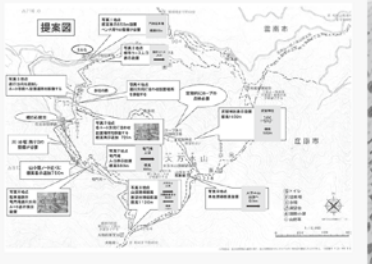
今後の展望

飯南町の山や自然の魅力を発信するには、登山道の整備だけでなく、実際に訪れて体験する人を増やしていくことが重要です。訪れた人がSNS等を通じて写真などをリアルタイムに情報発信できれば、町内外へ素早く情報が共有できます。

自然部会では山のことだけではなく、飯南町の今知りたい新鮮な情報がつかめる仕組みづくりを始めようとしています。次号では、その仕組みづくりについて紹介します。



実際に足で歩いて調査



案内看板の設置などを提案

短歌

頓原公民館短歌教室 一月詠草

晩秋の日差しを溜める山畑にほろほろ温き雲余子を拾う 藤原 正
歌を詠む縁につながる笑顔みて心をやす吾は幸せ 岡田 繁富
敗戦に泣きし少女も平成の平和味わい八十路を歩む 片岡 千鳥
親よりも兄弟よりも承らえて健やかに迎えむ次なる御代を 千葉トミエ
杖残し施設に行きし夫の姿追えは恋しき秋の夕ぐれ 景山サチ子
平成の三十年の吾の歩み多年を迎え「新元号」を待つ 三上 朋子
百「歳」安来節「好む兄逝けり笑まう遺影の口ずさむがに (遺 詠) 熊谷 允子
ひとひ終えはしする今宵背のびせすほどほし楽しい夢みたい 景山 牧栄
とりどりのもみじの落ち葉あざやかに祭りのあとの神社鎮もる 本間 啓美
免許し猪ワナをしかけるも避けた足跡あざ笑つて 石川 隆
日記帳三年だった目標を五年と定め雪空を眺む 安部 徳則
平成も最後となり暮れちかし我が年齢思いて良き新年願う 山本 正敏

すこやか

1月届出分

新生児 吉田 想(ちゃん) 居出人 地区 真也(頓原)
恒松 杏奈(ちゃん) 和真(赤名)

やすら

1月届出分

お名前 高下 ハル子様 親族 地区 等 (谷)
熊谷 允子様 高 暢(町区)
本間 壽子様 達也(町区)
和田 幸子様 洋一(川西)
安部 富代様 精一(志津見)
池田 利明様 和香子(谷)
前田 祥宏様 和秀(寺沢)
比毛 美代子様 宇山美輝(赤名)
那須 強様 修二(敷波)

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

手伝うよ その一言で
みな笑顔

赤名小6年 八嶋 剛さん
家族名 八嶋 奈美恵さん

泣かないで えがおが
いちばん たからもの

赤名小6年 前島 柚花さん
家族名 前島 容子さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

全6回講座のヒトカラhitocolorイイナンも、2月10日で5回目になり、いよいよ大詰め。「やりたいこと」×「地域・社会によいこと」をキーワードに、やりたいことの実現に向けて話し合いました。
新たなことを始めようとする参加者の表情は、とても生き生きとしていました。
(7Pに4回目の関連記事)



まちのスケジュール

2019年 平成31年 3月分
 ■教育 ■健康・保健 ■文化・体育 ■その他



日	月	火	水	木	金	土
2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21 春分の日	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6

■飯南高校卒業式
 *ボルダリング(定期)
 (交流センターとんぼら)
 18:00~20:00

+ほっと.Café
 (来島保健センター)
 10:00~11:30

+1歳6ヶ月児健診
 (保健福祉センター)

+オレンジカフェ
 (保健福祉センター)
 14:00~16:00
 ◆行政相談
 (保健福祉センター)

■各中学校卒業式

+ほっと.Café
 (来島保健センター)
 10:00~11:30

+3歳児健診
 (保健福祉センター)

■各小学校卒業式

■各小中学校修了式
 +オレンジカフェ
 (保健福祉センター)
 14:00~16:00
 ◆はびこ無料結婚
 相談会(飯南町役場)
 18:30~予約制

■三校合同
 定期演奏会
 (赤名農村環境改善センター)

■来島・さつき
 保育所了式
 +難病サロンほのり。
 (保健福祉センター)
 14:00~15:30

+赤名・桜ヶ台
 保育所了式

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原 志々	7日(木) 8日(金)
赤名	2日(土) 4日(月) 20日(水) 22日(金)
来島	12日(火) 14日(木)

資源物

収集地域	収集日
頓原	20日(水)
赤来	27日(水)

金属類・粗大物 ガラス類

収集地区	収集日	収集日
頓原連担地	25日(月)	11日(月)
八神連担地	27日(水)	13日(水)
頓原・八神連担地以外	26日(火)	12日(火)
赤名連担地	18日(月)	4日(月)
来島連担地	20日(水)	6日(水)
赤名・来島連担地以外	19日(火)	5日(火)

[頓原地域] 電話72・1401 [赤来地域] 電話76・2441

[いいしクリーンセンター] 電話72・9217

※決められた日時をお守りください。

●町の人口4,884人(前月比-7人) ●男性2,273人 ●女性2,611人 ●世帯数2,054戸 H31.2.1 現在

広報いーなん 2月号

小さな田舎からの「生命地域」宣言
 笑顔あふれるまち 飯南町



スマホで広報紙を
 読みませんか?